



広報

ふだい



「またきてね！」

みちのくスマイルプロジェクトの一環でミュージシャンの太田代将孝さん（盛岡市出身）が5月12日、はまゆり子ども園（日沢栄子園長、園児73人）を訪れました。「みんなの笑顔で周りの人を元気にしてほしい！」と童謡やアニメソングなどを園児らと一緒に歌いました。「またきてね！」と首飾りをプレゼントする園児。「みんなに歌を作ってくるよ」と太田代さんは夏の再会を約束していました。

◆東日本大震災により一部紙面を変更します。ご了承ください。

主な内容	東日本大震災 ドキュメント	2~9	くらしの情報	12~13
	村の話	10	声・お便り、応援メッセージ	14~15
	農業振興地域の整備計画見直し	11	カレンダー、ホッと一息	16



太田名部漁港を襲う大津波。防潮堤で食い止められています (11日午後3時27分)

地震直後の普代小職員室 (11日午後2時48分)



避難を呼び掛ける消防車両 (11日午後2時58分)



太田名部沖に漂流する漁船 (12日午後12時8分)



避難する太田名部地区の住民 (11日午後3時56分)

2011 3・11 大震災 国内最大M9.0

東日本大震災 ドキュメント

発生から8日間の記録



普代村

3月11日午後15時34分ごろ堀内漁港に襲いかかる津波の第1波、この後堀内漁港は壊滅状態となった

マグニチュード9.0。日本の観測史上最大の大地震が東北と関東の沿岸を襲いました。その後巨大津波が発生。想像を絶する高さで破壊力で沿岸の町に壊滅的な被害を与えました。さらには放射性物質を閉じ込める機能を失った東京電力福島第1原子力発電所の「見えない恐怖」が追い打ちをかけました。幸い村では普代水門や太田名部防潮堤が機能したことなどから住家には被害がありませんでしたが、野田村で村民7人が被災し、村内では行方不明者が1人となりました。県内の死者数は4407人、行方不明者は依然として3266人に上り、震災での全避難者は3万6千人。うち約1万5千人が避難所生活を余儀なくされています。あの日何が起きたのか、巨大地震の発生から8日間をまとめてみました。

15時34分 第2波普代水門到達、堀内に第1波到達

15時36分 第3波普代水門到達

15時40分 第4波普代水門到達

15時50分 太田名部防潮堤内の人家は無事。漁港側はほとんどの建物が倒壊、船も散乱している。堀内漁港は波が市場を超えた。力持地区の人家は無事

16時00分 沢向地区は漁港水産倉庫付近まで浸水、1次避難場所から2次避難場所(管理センター)へ村バスで避難者搬送(約120人)

16時36分 福島第1原発1、2号機で外部電力の供給が止まり、非常用発電機が作動不能となるなど、原子炉を冷やす機能を失った。東電が原子力災害対策措置法に基づく緊急事態を通報。国内初。19時03分これを受け国は福島第1原発で初の「原子力緊急事態宣言」

16時40分ごろ 防災無線復旧

17時00分 管理センターへさらに約30人避難、黒崎沖約100艇付近に漁船7隻停泊。燃料は足りるが、食料が不安

19時03分 三陸鉄道、白井―力持間で立ち往生。救助要請、分署員出勤

19時11分 堀内漁港に船を見に行き一人行方不明

3月11日(金)

14時46分ごろ 村三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生。宮城県栗原市で震度7を記録。村役場では震度5強を観測。電気、電話、防災無線がストップした

14時49分 気象庁が岩手、宮城、福島、青森、茨城、千葉の太平洋沿岸に大津波警報発令(岩手県3級)。北海道から伊豆諸島にかけて津波警報。各地で被害

15時00分 東北電力女川原子力発電所(宮城県女川町、石巻市)や東京電力福島第1原発(福島県双葉町、大熊町)、第2原発(楡葉町、富岡町)など計11基が自動停止

15時05分 震度4を観測。続いて09分に震度5弱を観測

15時15分 釜石港4時20分の津波観測、津波予想6時に変更

15時20分 普代水門の県道側の陸甲が余震で負荷がかかり緊急停止。分署員3人が復旧に向かう。25分復帰

15時27分 普代水門に津波第1波約20分が到達

15時30分 津波予想10時に変更。各1次避難所へ約400人が避難

19時19分 三鉄乗客15人、力持三陸水産付近で確保

19時20分 自衛隊派遣要請

20時00分 岩手県へ災害救助要請(食料、燃料、発電機)

20時50分 災害対策本部会議

21時23分 福島第1原発の半径3km以内の住民に避難、10km以内は屋内待避指示

3月12日(土)

24時00分 小中学校の教員は全員無事を確認

1時00分 萩牛地区断水、普代地区もまもなく断水の模様

2時13分 建設水産課、水道復旧のため出動中

2時55分 断水62戸(萩牛、沢向、堀内、太田名部)

6時10分 行方不明者捜索

7時05分 普代第1水門開放(15分後に閉鎖)

8時00分 災害対策本部会議

8時30分 漂流中の漁船、太田名部沖約300艇10隻13人に

9時42分 岩手県へ漂流船対応依頼

12時19分 陸前高田市で津波確認情報あり



太田名部防潮堤の海側は壊滅的でしたが、無傷だった写真奥の住家（13日午前8時24分）



ドラム缶などが散乱する堀内漁港（14日午後2時15分）



津波後の太田名部漁港の無惨な光景にぼう然とする漁業者（13日午後3時20分）



大沢地区での緊急消防援助隊らによる懸命な捜索活動（13日午前9時4分）



作業場などが全壊した大沢地区のがれき撤去をする漁業者（17日午後3時42分）



ぞくぞくと届けられる救援物資（14日午後7時13分）



衛星電話で身内の安否が分かり涙する女性（13日午後1時48分）



陸上自衛隊らによる高齢者活動施設での炊き出し（14日午後3時56分）



17時30分 災害対策本部会議
 16時46分 復旧作業終了。各分団集合、打ち合わせ
 12時00分 村内の水道が完全復旧
 8時00分 災害復旧開始（太田名部・力持・白井・沢向・堀内）。30分後に行方不明者の捜索開始（11時55分）

3月17日（木）

7時00分 防災無線で作業中止を広報
 6時45分 雪により行方不明者の捜索、復旧作業は中止
 3月17日 災害対策本部会議

3月16日（水）

7時30分 災害対策本部会議
 8時35分 行方不明者の捜索、太田名部・力持・白井・沢向・堀内で災害復旧開始
 16時30分 捜索・復旧作業終了

3月15日（火）

20時15分 堀内地区電気復旧
 村民ホール

15時33分 田老で引き潮確認
 15時00分 普代元村の電気が復旧
 15時15分 太田名部地区の電気が一部復旧
 14時43分 和野山線（太田名部―黒崎）通行可
 11時16分 久慈消防本部消防長災害対策本部到着。管内状況報告
 8時50分 緊急消防援助隊が太田名部、堀内方面捜索
 8時25分 地震発生
 7時30分 津波注意報に切り替え
 7時15分 緊急消防援助隊（栃木県隊20台89人）到着、打ち合わせ
 6時50分 陸上自衛隊到着。本日から炊き出し開始
 5時20分 災害対策本部会議

3月13日（日）

12時50分 漂流船に海上自衛隊から食料供給される
 15時36分ころ 福島第1原発1号機で水素爆発。原子炉建屋が破損、作業員4人がけが
 19時00分 N-Tドコモ衛星電話設置（役場村民ホール1台）
 19時25分 陸上自衛隊到着
 20時22分 津波警報に切り替え

3月14日（月）

17時58分 津波注意報解除。避難勧告解除
 18時08分 普代第1水門開放
 18時33分 太田名部水門、ひ門開放。災害対策本部会議

3月18日（金）

8時00分 復旧作業を開始（太田名部・力持、沢向、堀内）
 12時56分 行方不明者捜索隊が野田村へ出動（分署員と消防団）
 14時46分 黙祷（被災後1週間）
 16時30分 本日の作業終了
 17時40分 災害対策本部会議
 21時00分 警察庁のまとめで死者が12都道府県で6911人に上り、平成7（1995）年の阪神大震災の6434人を超え、死者数で国内で戦後最悪の災害に
 7時30分 災害対策本部会議。政府より支援物資へり搬送の連絡有り、白井多目的グラウンドを緊急ヘリポートへ指定
 10時00分 大船渡で2回目の引き潮確認情報有り
 10時04分 茨城県沖で震度5弱、マグニチュード6.2の地震観測
 10時11分 大船渡で3回目の津波確認。ひ門、水門閉鎖
 10時30分 国道45号通行可能
 10時54分 田老で5回目の津波情報あり
 11時08分 陸前高田市で5回目の津波情報あり
 16時30分 本日の災害復旧作業終了
 17時00分 東京電力が地域ごとに電気を止める「計画停電」を2時間程度、茨城、千葉、山梨、静岡の4県の一部地域で実施
 17時29分 衛星電話3台追加（役場

※18日以降も各漁港などの復旧作業は夕方まで続きました。20日には携帯電話が一部復旧しましたが、依然固定電話とインターネットが使えない状況で、復旧までに約20日間要しました。
 その後も震度3、4の余震が続く不安の中、復旧作業に当たりました。4月7日には23時32分に震度5弱を観測。村内全域で停電。また村が闇に包まれました。津波注意報が発令され、真っ暗な中、1300人に避難勧告を発令。津波の再来かと不安な夜を過ごしました。

無惨にもぐちゃぐちゃになった養殖ワカメや養殖コンブのロープを片付ける漁業者（4月5日午後2時33分）



太田名部市場のがれき撤去をする消防団や漁業者ら（17日午後2時56分）

協力し合いひっくり返った小型船を元にもどします（14日午前9時12分）



がれきの中から使用できそうな船外機を運ぶ漁業者（14日午前9時13分）

重機を使ってのがれき撤去が行われる堀内漁港（14日午後2時15分）



前へ



大津波から逃れた漁船を使い養殖施設の片付けをする漁業者（4月5日午後12時50分）



再生へ心ひとつに

日本に衝撃を与えた東日本大震災から2カ月がたちました。巨大津波により壊滅的な被害を受けた村内の漁港も少しずつ復旧してきたように感じます。

過去に村は明治29年と昭和8年の大津波で439人の尊い命を失いました。特に太田名部地区では壊滅的な状況だったと察します。それでも先人らは前へ進み復興を遂げてきました。

「頑張っって!」「応援し続けます」多くの方から義援金などが送られてきています。こんな小さな村を涙を流しながら本気で応援してくれる人たちがたくさんいます。普代の海の幸を心待ちにする人たちがたくさんいます。何度ため息をついても、思うようにいかず無性に腹が立っても、そこをぐっところえ、これまで幾多の災害に立ち向かってきた漁師の意地をもって、元気な普代の再生へ、皆で心ひとつに前に進みましょう。

普代・太田名部地区の浸水区域

(3月13日、国土地理院)



平成23年3月11日の津波の浸水区域を普代分署員に表してもらいました。津波は15.5mの普代水門を超え、普代川をさかのぼり、村漁協裏まで到達しました。遡上高(津波が達した高さ)約22mと推測されます。一方、太田名部地区では、津波は15.5mの防潮堤の半分ぐらいまで達しましたが、防潮堤の中の住家に被害はありませんでした。しかし、漁船や加工場、荷さばき施設などは壊滅したほか、防潮堤がない大沢地区は津波の直撃を受け作業場は全滅しました

1分でも早く逃げる

「『バキ、バキッ』と防潮林をなぎ倒し、黒い塊が普代川を逆流してきました」。巨大津波が普代水門に押し寄せた瞬間を話すのは久慈消防署普代分署の副分署長を務める立白勝さん。余震で負荷がかかり緊急停止した陸甲を閉めに行つてのことでした。「水門を6mは超えたでしょう。もつと高かったらすごい被害になっていったと思います」と振り返ります。

災害対策本部で連絡調整に当たった同分署の古馬丈裕司令補は「今度同じような津波が来たら大きな被害がでるでしょう。震源が近いと今回よりもっと早く津波はきます。普段から『地震が起きたら津波がくる』と意識して、1分でも早く近くの高台に逃げる準備をしておいてほしいです」と切実に話します。

ほとんどの沿岸市町村では無情な巨大津波により多くの尊い命が奪われました。テレビの映像などを見ると、一人ひとりの一瞬の判断が生死を分ける結果になっていました。備えの大切さ、地震発生後の1分1秒の大切さを感じずにはいられません。今回の地震で皆さんはすぐに避難しましたか？

見舞金の申請受け付け

1世帯2万円、6月中に支払い



太田名部公民館で行われた一時見舞金の申請受け付け

村は5月11日、東日本大震災で住家に被害を受けた村民に対し、一時見舞金の申請受け付けをしました。

一時見舞金は、村が受けた義援金をもとに、作業場や漁船、養殖施設などが被害に遭った世帯に2万円を支給するものです。

太田名部公民館では午前9時30分から受け付けを開始。早速地区民が訪れ、役場職員が記入事項をチェックしていました。

今回の支給対象は約280世帯。5月13日現在で250

人が既に申請しています。村には13日現在、村内外の個人団体などから約1千300万円の義援金が寄せられています。

自分のところでは被害が少なかつたので対象にならないと思っている人もいます。義援金は被害の大小にかかわらず被災世帯に均一に配分されますので、被害に遭われた人は必ず5月31日までに申請してください。

義援金は6月中には指定された口座に振り込まれる予定です。

鵜鳥神社で震災復興祈願

復興と大漁願い参拝



1日も早い漁業の復興と大漁を祈願する参拝者

震災復興祈願（小祭式）が5月10日、鵜鳥神社の例大祭に併せて行われました。拜殿で行われた復興祈願には、深渡宏村長や漁業関係者、村外からの参拝者らが1日も早い漁業の復興と災害のない年を

願いました。

願いました。からはし定置網の代表を務める中居弘栄さん（60）太田名部は、「養殖ワカメやコンブの施設の片付けで、定置網の復旧にまだ手が回

も全壊しました。でも、やらないとメシが食えない。定置網漁に懸け、1日も早い復興を目指し頑張っています」と話していました。

震災により今年には鵜鳥神楽の奉納もなく、いつもより人は少なかつたものの久慈市や野田村、岩泉町などから訪れた参拝客らは、拜殿や卵子西山頂にある本殿に祈願した後、おみくじやお守りを買って求めています。

例大祭は旧暦の4月8日に行われ、大漁や海上安全、家内安全、縁結びなどの祈願に毎年たくさんの方が訪れます。

義援金・支援金、ふるさと応援基金

（5月13日現在、敬称略）

▶千葉県司法書士 関正夫1,000円▶山口建設 榊50万円▶(社)国民宿舎協会10万円▶兵庫県たつの市長 5万円▶宮城建設 榊500万円▶フジサワサチコ2,000円▶ダム・発電関係市町村全国協議会会長辻一幸3万円▶榊岩手県北観光久慈支店支店長中井秀則1万円▶田中満5万円▶ウノカズシ5千円▶藤徳林業合資会社5万円▶小野真美子6万円▶クドウヨシヒロ5千円▶東京書籍株式会社50万円▶全国町村水産業振興対策協議会3万円▶八幡平市50万円▶榊普代土木60万円▶長澤早苗1万円▶金子久仁10万円▶小森裕美5千円▶タダルミコ2,500円▶榊古沼建設60万円▶久慈鍼灸院澤田国秋1万円▶(社)ノウカノウリコプロジェクト1万1,000円▶リスイカガク 榊50万円▶須賀一樹10万円▶藤野武・安江3万円▶幸福実現党100万円▶シンニホンフジンノカイイワテ30万円▶カネコヒデ30万円▶榊九戸印刷10万円▶川村啓子3万円▶大森竹之助1万円▶野井和光1,100円▶山内直哉3,500円▶タカハシマコト1,000円▶オギワライクコ1万円▶中村建設 榊20万円▶東京陸中懇談会会長堀合辰夫5万円▶全国町村議会100万円▶上神田梅雄10万円▶うねとり荘職員一同2万円▶ナカムラゲンジ200円▶オザワミキ1,000円▶鈴木真紀子1万円▶岡野浩5,000円▶三田地成幸10万円▶厚地勉100万円▶深渡賢治15万円▶佐藤雅一5,000円▶ふるさと普代会9万7,000円（カネコトクエイ ナガイトシエ サカイリョウコ サトウミツ セイミヤアイコ サカハラレツコ スナゴウミツオ）

農業振興地域の整備計画を見直します

村では、総合的な農業振興のため「農業振興地域整備計画」を策定し、おおむね5年ごとに見直しをしています。平成23年度は計画の見直し年度です。平成24

農業振興地域での農地転用 事前に届け出が必要

村は「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて、普及農業振興地域整備計画を定めています。農業の振興を図るべき地域（農業振興地域）を明らかにし、農地の有効利用と農業の近代化を総合的に進めることを目的としています。

平成23年度の定期見直しに伴い、平成24年度から5年以内に住宅建設や事業開発などで農地転用を予定している人は農振除外の手続きが必要となります。

6要件すべてを満たす場合 農振除外できます

やむを得ず、農用地区域内に住宅建設や事業開発などを予定している場合、次の要件をすべて満たす場合に農振除外できます。

- 農振除外6要件
- ①農用地区域外に利用できる土地がないこと
- ②農用地の集団化や作業効率化



※農振除外とは？
農業振興地域（農業の振興を図るべき地域）内には、優良な農地の保全のため農業以外での利用が制限される「農用地区域」があります。農用地区域内の農地を農地以外に使用するとき、農地転用の許可申請前に農用地区域からの除外手続きが必要となります。このことを一般的に「農振除外」といいます。

年から5年以内に住宅建設や事業開発などで農地転用（農地を農地以外に変えること）を予定している人は、「農振除外」の手続きが必要となります。

など、農業上の土地利用に支障がないこと

- ③効率的かつ安定的な農業経営者の農用地の利用集積に支障がないこと
- ④土地改良施設（用排水路や農道など）機能に支障が生じないこと
- ⑤土地改良事業などを行った区域内では、事業完了後8年以上経過していること
- ⑥申請目的の実現が確実なこと

まずは農用地区域が確認 手続きは6月30日までに

事業を計画している人は、その土地が農用地区域に指定されているか問い合わせの上、指定されている場合は、役場農林商工課で農振除外の手続きをしてください。指定されていない場合は、手続きは必要ありませんが、農地転用の手続きは必要です。

- 受付期間
平成23年6月1日(水)～平成23年6月30日(金)
- 提出書類
①農用地利用計画変更申出書

- ②位置図（申請地の位置や付近の状況がわかる地図）
- ③事業計画の概要がわかる設計書、配置図など
- ④公図（申請地の地番や地目、隣接地の状況を表示した図面）
- ⑤委任状・同意書（必要に応じて）

手続きを忘れると 5年は農振除外できません

受付期間を過ぎると農業振興地域整備計画の見直しが始まり、今後5年間は原則として農振除外の手続きができません。今後5年の間に農地転用の予定がある人は、6月30日までに手続きを行ってください。

- 問い合わせ先
農林商工課・農政係
☎35-2115 内線153

総務課 ☎35-2111 保健福祉課 ☎35-2114
税務課 ☎35-2112 農林商工課 ☎35-2115
住民課 ☎35-2113 建設水産課 ☎35-2116
出納室 ☎35-2117
議会事務局 ☎35-2118
教委事務局 ☎35-2711
保健センター ☎35-2211

4月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう(3人)

鎌倉 愛乃(清和・亜紀子) 堀内
菊池 夢翔(祐史・弘子) 中央区
中田 響(高行・ゆり子) 力持

ご結婚おめでとう(1組)

畑中 寿文) 久慈市
金子 妙子) 黒崎

お悔やみ申し上げます(0人)

交通安全対策情報

- 村内の交通事故《4月》
- 人身事故 0件(0件)
- 物損事故 2件(9件)
- ※()内は1月からの累計
- 飲酒運転検挙者 0人(0人)
- ※()内は8月からの累計
- 救急車の出動回数《4月》8回

人口と世帯

4月末現在

	前月比	前年比
人口	3,051人 (-1)	(-48)
(男)	1,494人 (-3)	(-20)
(女)	1,557人 (+2)	(-28)
世帯	1,120戸 (+2)	(+2)

村内の異動

■行政連絡員◇新任▷鳥居・下橋場岩男(4月1日付)▷萩牛・木村勝正(同)▷太田名部・太田健一(同)▷上区・佐々木康雄(5月1日) ◇退任▷鳥居・小屋敷亮二郎▷萩牛・田中義正▷太田名部・太田進▷上区・深渡覚 ■役場(5月11日付)▷地域振興室主任主査兼地域振興係長(建設水産課主任主査兼庶務管理係長)太田吉信▷地域振興室企画係長(農林商工課商工観光係長兼雇用対策係長兼休養施設管理係長兼緑の村管理係長)山崎長蔵▷農林商工課主任(地域振興室主任)高井俊一

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(5月17日現在)

23年度分 **2,505,000円** 累計 **4,068,000円**
51件(村内30件、県内1件、県外20件)
普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください
ただ、総務課(☎0194-35-2111、内線115)までご連絡ください。

クマに注意してください!

毎年、山菜、キノコ採り、登山、溪流釣りや林業作業中のツキノフグマによる被害が見受けられます。特に山菜、キノコ採りや溪流釣りの場合、採ることに集中してしまうため、クマがいる気配に気付かず、突然出合ってしまう危険性が高くなります。県内のほとんどがクマの生息地です。クマがいるのは当然と思って山に入ってください。特に、悪天候の日や沢音が大きい場合などでは、クマも人の気配に気付かないこともありますので、注意が必要です。入山する時は次のことに注意しましょう。

- ①なるべく一人では入山しないようにしましょう
 - ②鈴、笛、ラジオなどで人の存在を知らせましょう
 - ③小グマの近くには必ず親グマがいますので注意してください
 - ④新しい足跡やフンを見つけたときには、すぐに引き返しましょう。
- ▶問い合わせ先…岩手県環境生活部自然保護課(☎019-629-5371)

クマ用電気柵を貸します!

問 農林商工課
(☎35-2115)

生活支援ハンドブック配布

内閣広報室では、東日本大震災での津波被害や原発事故に遭われた皆さんをサポートするため「生活支援ハンドブック」(写真)を作成しました。



ハンドブックには被災地での体や心の健康に関するアドバイスや生活福祉資金、災害援護資金をはじめ、さまざまな生活支援の仕組みを掲載しています。

「生活支援ハンドブック」は役場窓口にありますので、役場にお越しの際はご自由にお持ち帰りください。
▶問い合わせ先…役場総務課(☎35-2111)

お願いします

電線の感電事故にご注意!

東北電力株式会社久慈営業所では、次の3点について、注意を呼び掛けています。

- ①切れた電線などを見つけたら、近づいたり触ったりせず、連絡をお願いします
- ②釣り場では電線に注意してください
- ③工事現場、伐採作業個所では、事前に電柱などの有無を確認し、工事に支障がある場合には早めに連絡、相談してください。

▶問い合わせ先…東北電力株式会社久慈営業所(☎0194-53-2001)

甲種防火管理者の講習会

久慈消防署では、平成23年度の甲種防火管理者資格取得講習会を次の通り行います。

- ▶日時…6月2日(木)、3日(金) 2日間とも9:00~16:00
 - ▶場所…久慈市防災センター3階防災教育ホール(久慈市長内町)
 - ▶対象者…消防法に基づく防火管理の選任が必要な事業所または防火管理者の資格を得た人
 - ▶定員…100人
 - ▶講習料…6,000円(テキスト代含む)
 - ▶申し込み締め切り…5月25日(水)
- ※受講申請書は久慈消防署または各分署にあります。
▶問い合わせ先…久慈消防署(☎0194-53-0119)、久慈消防署普代分署(☎35-2119)

久慈消防署で救命講習会

久慈消防署では、住民の応急手当に関する知識や技術の普及を目的に、普通救命講習会を次の通り開きます。受講料は無料です。

- ▶日時…6月12日(日) 9:00~12:00
- ▶場所…久慈市防災センター視聴覚研修会
- ▶定員…30人程度(対象は中学生以上です)
- ▶申し込み期間…5月16日(月)~6月10日(金) ※受講申請書は久慈消防署または各分署にあります。
- ▶問い合わせ先…久慈消防署警防救急係(☎0194-53-0119)、久慈消防署普代分署(☎35-2119)

ご存じですか?

6/1、人権相談所開きます

6月1日、役場で人権に関する無料相談所を開きます。職場や学校でのいじめ、子どもや高齢者への虐待、家庭内暴力、相続・土地建物の問題、税金・借金問題、近隣とのトラブルなど、広い分野で皆さんの相談に応じます。

相談員は法務大臣から委嘱された和村淑子さん、佐藤勲さん、釜谷壽人さんの3人です。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

- ▶日時…6月1日(水) 10:00~15:00
- ▶場所…役場会議室
- ▶問い合わせ先…役場住民課(☎35-2113)

宝くじ助成 液晶テレビなど購入

財団法人自治総合センターの宝くじ助成金(コミュニティー助成事業=22年度分)総額100万円を受けて旭日区自治会で液晶テレビやDVDカラオケシステムなどを購入しました。(下写真)今回購入した同備品は今後も地区のコミュニティー活動などで幅広く有効活用されます。



故和村幸得氏の顕彰碑建立の募集について

平成23年3月11日午後2時46分頃岩手、宮城、福島を東北3県を中心とする東日本に大震災が発生し、史上まれに見る一大惨事となりました。本村においても沿岸地帯に大被害を受けました。

特にお気の毒なのは、隣村野田

村の十府ヶ浦付近を車で走行中の方々7人の人命が奪われ、村内においても1人の方の行方不明者が出ておりますが、不思議にも明治、昭和の二度の津波では跡形もなく根こそぎさらわれた太田名部、普代元村の大部分が全く無傷で残りました。信じられないような奇跡であります。これは言うまでもなく、普代水門と太田名部防潮堤が

津波を押し戻してくれたからであります。この二つの防潮堤がなかったら、普代村の心臓部である普代村役場も大被害を受け、村全体が麻痺状態になり、太田名部集落の大部分と普代元村は海岸から駅前通り全体が流出していた訳であります。そこでこの先人の偉業に吾々は何かの形で感謝の気持ちを表現したいと考え、皆さんのご賛同を得て顕彰碑を建立して後世に伝えたいと考え、協力いただく区域

を直接防潮堤によって救われた太田名部、普代元村に限定しておりますけれど、考えてみますと、この防潮堤によって普代村の心臓部普代村役場が救われております。

また、普代村という一つの行政組織として普代村全体が救われたことかと存じますので、普代村全体にお住まいの皆様へ改めて私どもの趣旨にご賛同いただき顕彰碑建立の財源が確保されまして、立

派な記念碑を後世に残すことができそうです。ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、直接関係区域にお住まいの方に対しても集落によっては各戸にお願いに回っていないところもありますので、ご容赦の上、お手数をおかけしますが当実行委員会(窓口・役場地域振興室☎35-2111)に直接お申し出の上、ご協

力くださるよう、お願い申し上げます。

故和村幸得氏顕彰碑建立実行委員会

- 代表 道下 成忠
- 副代表 野崎幸太郎
- 委員 太田喜一郎
- 太田 文吾
- 高井 俊雄
- 佐々木康雄

声・お便り & 応援メッセージ



メールやお便りなど皆さまから寄せられた村への温かいメッセージを紹介します。

① のたびの東北地方太平洋地震により、甚大な被害に見舞われ被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。地震直後から、父母と全く連絡が取れない状況、TVで映し出されるいろいろな映像、涙なしでは見ていられません。広報3月号の写真1ページ、1ページ無言、ため息、そして最後には涙、涙…。遠くに居てもできない自分が本当に情けなかつたです。

② のたびの震災で被災された方々が、とても心強く有り難く思っています。 広報係 ありがとうございます。皆さんの応援、とても心強く有り難く思っています。

③ のたびの震災で被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。 私は平成5年4月から3年間、普代小学校で教諭として勤務させていただきました。元気な子どもたちと、温かく気さくな村の皆さんにたくさん支えられて勤めた3年間で、私にとって普代村は教

員としてのスタート地点であり、第2の故郷でもあります。普代小の校歌にある「エメラルドグリーンの海とコバルトブルーの空」に再び会えることを祈っています。

④ のたびの震災により被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。東京に住んでおりますが実家は茂市、家族はおかげ様で全員元気です。漁港や普代浜の壊滅

的被害は写真を見るだけでも辛いですが、今回普代村の防潮堤だけが唯一機能したという報道は、東京でも新聞、インターネットを通じて目にすることも多く、人的被害がなかったことに少し明るい希望を感じております。

年2回の帰省の際、足と なっていた三鉄の復旧見込みが全くない、というのが仕方ないと分かっていても残念でなりません。母も三鉄が走らず代替バスの本数も少ないため、久慈などの病院に行かないと申しております。

復旧は険しい道のりではあるかと思いますが、1日も早く平穏な日常に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。復興のお役に立てるよう少しですが義援金をお送りさせていただきます。今後も引き続き応援させていただきます。

金子久仁さん（東京都在住） 茂市出身） のたびは、東日本大震災の被害にあわれたことを心よりお見舞い申し上げます。

おとうさん おかあさん あのね... 288



ひなちゃん（左）とかいとくん（はまゆり子ども園）

おたひなちゃん（太田ひな・6歳）から父・旭さん、母・千種さんへ

ママ、ほいくえんのおべんとうのとき、かわいいおべんとうをつくってくれてありがとう。たのしみだよ！ ママがチューしてくれるとき、すごくうれんだよ。大好き！

ひなはパパがつくるスパゲティがだいすきだよ！ はちのへにいて、ふくとかかってくれてうれしかったよ。ありがとう！

おたかいとくん（太田海斗・5歳）から父・訓仁さん、母・彩乃さんへ

いつもブロックであそんでくれてありがとう！ ママはカレーにみそをいれてあまくするんだ。とってもおいしいよ！ おりょうりをつくるの、てつだからね！

パパ、あみのおしごとはいけど、がんばってね！ くじにいてゲームをしたり、おやさいかつたりするのが楽しみだよ！

たらせび遊びに来てください。

広報係

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①②とも2ヶからの出題です。

① 東日本大震災のマグニチュードは次のどれでしょうか。

- Ⓐ 7.0
 - Ⓑ 8.5
 - Ⓒ 9.0
- ② 役場での震度はいくつだったでしょうか。

応募の方法

- Ⓐ 震度5
- Ⓑ 震度5弱
- Ⓒ 震度5強

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号）を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。

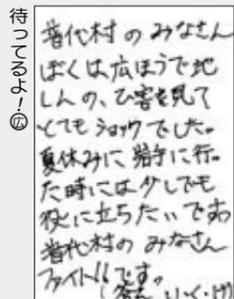
- ◎ あて先：〒0288-8392 普代村9-13-2 普代村役場広報クイズ係
- ◎ 締め切り：6月6日（月）当日消印有効
- ◎ 4月号の答え：い（小鳥）、く（ナイフ）、け（チヨウ）
- ◎ 応募総数：7通で7人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。
- ◎ 当選者：①谷地一星くん（力持・6歳）②森子夢愛ちゃん（黒崎・2歳）③新田将輝くん（中央区・10歳）④仲村威慧くん（京都府京都市・10歳）⑤仲村妃礼さん（京都府京都市・13歳）

みんなのイラスト展



仲良しが一番！ ④

谷地真鈴さん（力持・10歳）



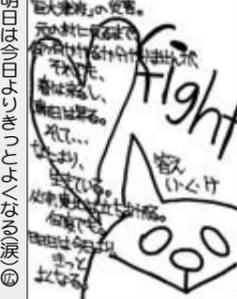
待てな！ ⑤

仲村威慧くん（京都府京都市・10歳）



キセキの村がキセキを起こせ！ ⑥

仲村妃礼さん（京都府京都市・11歳）



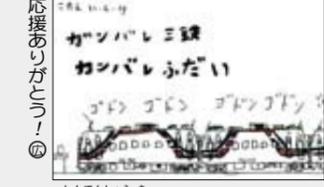
明日は今日より元気な涙 ⑦

仲村妃礼さん（京都府京都市・13歳）



元気なミッキー ⑧

谷地一星くん（力持・6歳）



応援ありがとう！ ⑨

新田将輝くん（中央区・10歳）



癒める小ブツちゃん？ ⑩

森子夢愛ちゃん（黒崎・2歳）

6月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
	30 (先勝)	31 (友引)	6/1 (先負) ・健康相談(力持・白井) ・特設人権相談所(10:00~15:00、㊸)		3 (赤口) ・乳がん・子宮がん検診(~4日)	
5 (友引)	徐々に砂が戻ってきた普代浜 (5/18)			9 (赤口) ・ジフテリア、百日ぜき、破傷風・麻しん、風しんⅠ期予防接種(受け付け13:30~13:45、㊸)	10 (先勝) ・ぎょう虫卵検査	11 (友引) ・サタデースクール①、③
12 (先負)	13 (仏滅) ・健康相談(黒崎・太田名部)		15 (赤口) ・お誕生教室(受け付け12:00~12:15、㊸)	16 (先勝)		18 (先負) ・地区中学校総合体育大会(~20日)
	21 (赤口)	22 (先勝) ・離乳食教室(受け付け12:00~12:15、㊸)	23 (友引) ・麻しん、風しんⅢ期予防接種(対象:中1生徒、受け付け15:30~15:45、㊸)	24 (先負) ・青少年育成事業、普代中体育館	25 (仏滅) ・サタデースクール②、③	
26 (大安)			30 (先負) ・ジフテリア、破傷風予防接種(対象:小6児童、受け付け16:00~16:15、㊸) ・村県民税第1期納期限	7/1 (赤口)	㊸は保健センター ㊹は北緯40度野球場 ㊺は社会体育館 ㊻は管理センター ㊼はふれあい交流センター ㊽は医科診療所 ㊾は子育て支援室 ㊿は海洋センター	

広報ふだい 5月号 No.588

発行日 平成23年5月19日
 編集 普代村役場 総務課
 〒028-8392
 岩手県下閉伊郡普代村
 第9地割字銅屋13番地2
 TEL 0194㉔2111 FAX 0194㉔3017
 ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
 電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
 印刷 有限会社 九戸印刷

▼「港に船があるのはここ(普代)ぐらいです。すごいですね」。村を取材に訪れたある東京の新聞記者の言葉です。本当にそうだと思います。長年大しけで漁船を痛めつけられてきた普代の漁港整備が功を奏したのかなと思っ
 ています。港では傷を負いながらも巨大津波から助かった船が並んでいます。「修理ができたら、いつでもいいぞ!」。傷ついた漁船たちがそう言っているように見えるのは小生だけでしょうか▼
 「持久力では負けないんです。普代の漁師の人は引っぱる力がすごいんです。かないませんよ」と、復興支援に来た自衛隊の人が言っていました。皆さんは自分たちが気付かない底力を持っているんです。自衛隊でもかなわないという引っぱる力で、明るい未来を引き寄せましょう。
 (森田)

ホッと一息